

気象庁から第52次南極地域観測隊越冬隊長を派遣

～ 気象庁から16年振り3人目 ～

本日、明治記念館で開催された第135回南極地域観測統合推進本部総会において、第52次南極地域観測隊副隊長兼越冬隊長として^{みやもとひとみ}宮本仁美観測部観測課課長補佐（50歳）が選考されました。気象庁から越冬隊長を派遣するのは16年振り3人目になります。

越冬隊長は、越冬隊員の安全を確保しつつ各種の重要な観測を確実に遂行することが課せられており、その責任は非常に重大です。宮本課長補佐は、第30次隊（昭和63年11月14日～平成2年3月28日）及び第37次隊（平成7年11月14日～平成9年3月28日）に越冬隊員として派遣され、南極地域観測について豊富な経験と知識を有しており、越冬隊長としての職責を十分果たすものと期待されています。

なお、第52次南極地域観測隊は、平成22年11月下旬に成田国際空港からオーストラリアのパーズ空港に向けて出発し、同国のフリーマントル港から観測船「しらせ」に乗船して南極昭和基地へ向かう予定です。また、同隊が帰国するのは平成24年3月中旬の予定です。